

編輯後記

近頃、時々重大な誤植をやつて物議をかます。何共申しわけない仕儀で恐縮するより他ないが、割合と字數の少い此雑誌でも、まるきり誤植をなくするには四校も五校もとらねばならぬので、時間的に許されない。誤植を黙過して頂かう等と蟲のよい考はしてないけれども、重大でないミスプリントは大目に見て頂き度いと切に願ひする。

×

世界の新聞雑誌を通じて、絶対に誤植をしないのはロンドンタイムス丈けだと聞かされて來たが、そのロンドンタイムスさえ、何時か誤植騒ぎで物議をかましたことがあつた様だ。自分のことは棚に上げてひと様のことばかり申上げては恐縮だが、我國の一流新聞であるA紙、N紙などにも、兄弟を兄弟としたり、いてふを常磐木と云つたりする間違ひはざらである。

×

とは云つても誤植は極力防がねばならぬ。其處で私は今、視覚と認識の問題と、間違ひ及び錯覺の心理的研究を始めてゐる。早晩結論を得て、一方では誤植を絶対になくし、また一方では今まで御迷惑をおかけした讀者及び筆者に對するおわびの一助にしたいとねがつてゐる。

×

先月號 278 頁廣島電氣下山發電所の記事で混凝土の施工量を一晝夜に260坪としたのは一晝夜にて60坪の誤りである。また同じく384頁丸之内だよりの

記事中三浦七郎氏の辭令、命土木局國道改良係長が脱落してゐる。茲に訂正して各位の御諒解を得度く思ふ。

新刊紹介

『我國の土木建築事業』

日本土木建築請負業者聯合會の編纂で、我國に於ける土木建築事業發達の經路を明かにし、併てそれが國民生活と密接不離の關係にあることを説いたもの、蓋し斯種の文献は我國では今までに見られぬ處であつたから、此書が斯界に裨益する處は大きいであらう。(菊判352頁で各種圖表多く定價2.50圓、日本土木建築請負業者聯合會發行)

『セメントコンクリート道路』

セメント同業會道路部パンフレットNo.23として本年二月熊本縣主催にて開かれた九州、沖繩、山口九縣道路講習會の講演を集録したものである。(四六倍判236頁定價1圓でセメント同業會道路部發行)

コンクリートの研究』

昭和七年九月岐阜建設事務所が岐阜商工會議所で開いた吉田徳次郎博士のコンクリートに關する講演を初め鐵道省建設局工事課で最近のコンクリート知識を集成したものである。(菊倍判240頁、定價1.50圓、送料21錢、シビル社發行)

<p>土木工事畫報 第十卷 第七號</p> <p>定價七十錢 (稅二錢)</p> <p>毎月一回一日發行 一ヶ年十二冊發行</p>	
<p>購 讀 料</p> <p>壹 部 七十錢 稅二錢 參ヶ月 貳 圓 稅 共 六ヶ月 四 圓 同 一ヶ年 八 圓 同 外國一部 七十八錢 稅 共</p>	<p>昭和九年 六月廿六日印刷納本 昭和九年 七月 一日發行</p> <p>編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京市豊島區長崎仲町二丁目三六二九</p> <p>印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地</p>
<p>注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。</p>	<p>發行所 工事畫報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話 丸ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番</p>
<p>廣 告 料</p> <p>本誌に廣告掲載御希望の向は御一報次第社員參上御相談に應ず。</p>	
<p>大 賣 捌 所</p> <p>東京堂・東海道 大東館・北隆館</p>	

業 負 請 築 建 木 土

社 會 式 株

組 島 鹿

一 精 島 鹿 長 社

吉 新 島 鹿 務 專

店 本

地 番 三 丁 二 町 檜 區 橋 京 市 東 京

二 〇 四 四 一 四 五 一 一 三 〇 〇 三 〇 〇 二 橋 京 電 話

所 張 出

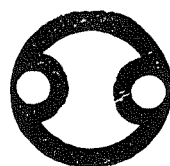
島 廣 山 富 野 長 岡 福 岡 靜 岡 屋 名 古 大 阪

幌 札 森 青 岡 盛

賓 爾 哈 們 圖 京 新 連 大 城 京 北 臺

暑 中 御 伺

土 木 建 築 請 負



株 式 會 社

問

組

東京市赤坂區青山南町一丁目一番地

本 店 建 築 部

電 話 青 山 (36)

長 長
二六六六
〇二二二
六六六六
四七六五
番番番番

大 阪 出 張 所

大 阪 市 北 區 伊 勢 町 九
電 話 北 二 八 〇 〇 番

名 古 屋 出 張 所

名 古 屋 市 中 區 仲 〆 町 三 〆 二 五
電 話 本 局 一 六 六 九 番

下 關 支 店

下 關 市 新 町 一 〆 一 二 五 七
電 話 下 關 三 八 五 番

福 岡 出 張 所

福 岡 市 庄 新 川 通 三 〆 一 九 九
電 話 福 岡 四 五 六 一 番

朝 鮮 支 店

京 城 府 龍 山 漢 江 通 一 〆
電 話 龍 山 四 七 四 〇 番
(建 築 部 專 用) 一 〇 七 五 番

文化元年創業



會合
社資

出張所

本店

支店

名古屋市南區西古渡町十八番地
 京都市上京區下立賣通千本西入
 大阪市西區土佐堀通二丁目二番地
 福岡市博多社家町廿一番地
 京城市府黃金町一丁目百一番地
 南滿洲大連市真弓町五番地

東京市京橋區寶町二丁目一番地

電話京橋(56)四一八一番(10) 五一八一番(10)
 四一八〇番 五一八〇番

清水組

橫濱市中區吉田町六十五番地
 新瀉市上大川前通八番地
 金澤市宗叔町三番町三十六番地
 神戶市神戶區仲ノ町三十六興銀ビル
 廣島市東三番町五十八番地
 仙臺市東三番町三十五番地
 北海道函館市大町七
 臺灣臺北市表町二丁目二十一番地
 釜山府南濱町二ノ四三
 鞍山新製鐵所門前通
 滿洲奉天府青葉町二十二番地

土木建築請負業

合資
會社

西松組

代表社員 西松光治郎

代表社員 林米七

東京市麴町區丸ノ内二ノ六(八重洲ビル五階)

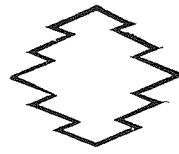
電話 丸ノ内(長三三八〇六
三六五九)

支店 熊本市本庄町中原

電話 熊本長一一一一

支店 京城南大門通二ノ〇(千代田ビル)

電話 本局長一八八二



大倉土木株式會社

本社 東京市銀座二丁目

大阪出張所	大阪市東區釣鐘町貳丁目二九
橫濱出張所	橫濱市中區海岸通一丁目四
靜岡出張所	靜岡市泉町五丁目一
名古屋出張所	名古屋市中區新柳町六住友ビル内
尾鷲出張所	三重縣北牟婁郡尾鷲町
九州出張所	福岡市下土居町三番地

會津出張所	福島縣南會津郡江川村
札幌出張所	札幌市北六條西十六丁目一
樺太出張所	樺太 豐原町
京城出張所	京城大和町壹丁目
大連出張所	大連市山縣通
臺灣出張所	臺北市本町四丁目一六

電話京橋 (56) 長距離 二一三〇
 代表番號 二一三一
 同 二一四一

本店 大阪市西區土佐堀通三丁目二四

電話 土佐堀

三三四一七
三四一八
一四六八

土木建築請負業

創業明治二十年

株式會社

錢

高

組

社長 錢高作太郎

副社長 錢高久吉

支店 東京市京橋區木挽町五丁目二

電話 銀座

三三三三
四三八八
四八八八
八二一〇

低熱ポルトランドセメント發賣!!!
淺野マスコン・セメント
ASANO MASCON CEMENT



- 特** (一) 比重重く、凝結遅キコト。
 (二) **コンクリート**の容重重く、密度大なること。
 (三) 粉末の表面積大にして、**コンクリート**は**プラスチック**且つ**ウオーカブル**なること。
- 色** (四) 發熱少く、**コンクリート**の温度上昇少きこと。
 (五) 強度發熱比高く、且つ強度増進率大なること。
 (六) 空中收縮少く、且つ耐侵蝕性なること。
- 用途** 一般に厚き塊**コンクリート**工事 (Mass Concrete) にて、容積變化又は不均齊應力の發生を厭ふもの。(例、重力堤堰、砲臺、橋脚及び機械基礎其他早期高強度を要求せざるもの、終局の硬化の低熱たるを要求する工事)

淺野マスコン・セメントと米國 Boulder dam 用低熱セメントとの試験比較(18°C)

種類	比重	粉末程度 cm ² /g	凝 結		水和熱H, Cal/g		空中收縮率mm/10m	
			凝 始	凝 終	7 日	28日	7 日	28日
淺野マスコン・セメント	3.23	1430	5 ²²	7 ¹⁴	53.9	75.0	6.1	7.8
米國低熱セメント	3.22	1330	3 ¹⁷	5 ²⁵	52.3	72.3	6.9	10.0

	(1:3) モルタル強度 (kg/cm ²)						強度發熱比		
			1 日	2 日	3 日	7 日	28日	7 日	28日
	水量(%)	耐 壓 力 (C)	C/H						
淺野マスコン・セメント	7.0	81	196	303	434	659	8.1	8.8	
米國低熱セメント	6.5	94	164	226	345	487	6.6	6.7	
	抗 張 力 (T)						T/H		
淺野マスコン・セメント	6.8	11.5	21.8	31.1	35.1	41.3	6.5	5.5	
米國低熱セメント	6.3	13.0	18.6	22.5	27.4	36.4	5.2	5.0	

淺野セメント株式会社

東京丸之内海上ビル新館

THE "KOJI GAHO"

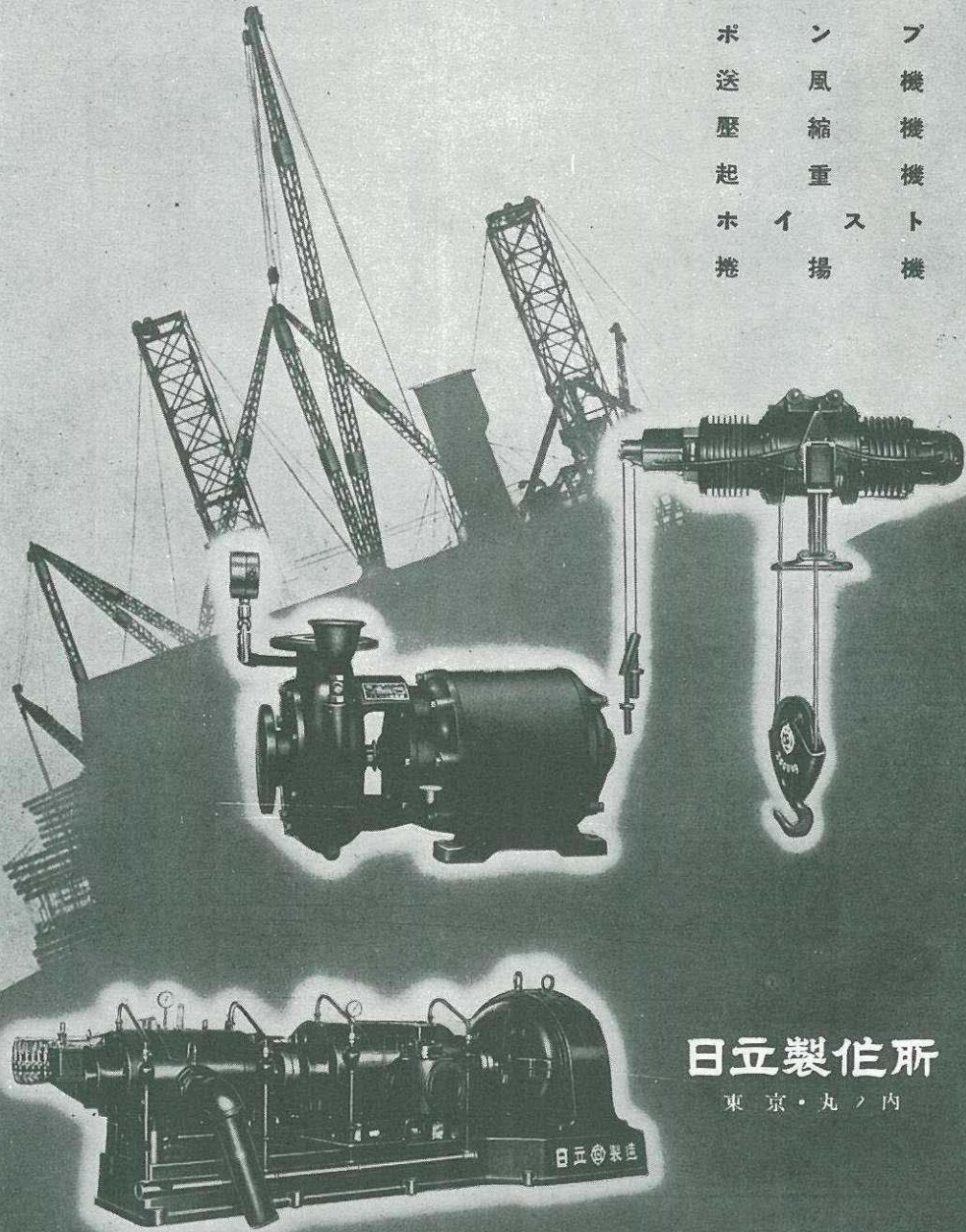
AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW

VOL. 10, NO. 7

Published Monthly by the Koji-Gaho-sha
Tokyo Japan

日立工事用諸機械

ボ ン プ
送 風 機
壓 縮 機
起 重 機
ホ イ ス
捲 揚 機



日立製作所

東京・丸ノ内

定 價 金 七 拾 錢 送 料 二 錢

大正十四年七月二十八日
昭和九年六月二十九日
印刷
（毎月一回発行）

土木
建築
工事
資料
第十卷
第七號